環境活動レポート
2014年度

太陽油脂株式会社

目次

1　組織の概要 ―― P.1
2　対象範囲 ―― P.1
3　環境方針 ―― P.2
4　環境目標 ―― P.3
5　環境活動計画 ―― P.3
6　環境目標の実績 ―― P.4
7　環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 ―― P.5
8　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 ―― P.7
9　代表者による全体評価と見直しの結果 ―― P.7
10　環境活動報告（2014 年度） ―― P.8

① 組織の概要

事業所名及び代表者名　太陽油脂株式会社
代表取締役社長　網干 雄三郎

所在地　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 2-7

環境管理責任者及び担当者連絡先　環境管理責任者：製造二部長　原 充宏
TEL:045-441-4962　　FAX:045-441-9671

事業の概要

事業内容　加工油脂部門：ショートニング、マーガリン、その他食用加工油脂および油脂加工品の製造販売
家庭品部門：家庭用・業務用石鹸、シャンプー、ハミガキ類、化粧品の製造販売

事業規模　生産量 :63,262t/ 年
従業員数 :242 人（2015/1/31 現在）
床面積 :14,638.46㎡

② 対象範囲

認証・登録範囲　加工油脂部門:ショートニング、マーガリン、その他食用加工油脂および油脂加工品の製造販売
家庭品部門:家庭用・業務用石鹸、シャンプー、ハミガキ類、化粧品の製造販売

レポートの対象期間及び発行日　対象期間:2014年04月01日～ 2015年03月31日
発行日:2015年06月15日

③ 環境方針

A-KE002-02-1

環　境　方　針

太陽油脂は、「誠実をモットーに、確かな技術ともづくり精神に裏付けられた、人と、地球に優しい、安心・安全な製品の提供と各種の経営活動を通じて、心豊かで健康的なくらしと社会・自然の持続可能な発展に貢献します」と掲げた企業理念の下に、以下の環境方針を定めます。

1. 環境、社会との共生に視点をおいた企業活動

1-1、太陽油脂は重要な社会的課題・環境問題に真摯に対応する経営の実践を通じて社会的責任を果たしていきます。
1-2、太陽油脂は「人、社会そして環境への貢献」を考えた具体的な経営活動・事業活動を積極的に展開していきます。

2. 人と環境に優しい製品の提供

2-1、太陽油脂は、「人と、地球に優しい」に拘った食用油脂製品と石けん製品を通じて、お客様に豊かで「安心・安全な生活」とともに「環境に優しい生活」をも提供していきます。
2-2、太陽油脂は、原料調達・生産から製品使用までの企業活動のあらゆる段階での環境への取り組みにおいて、環境関連法規、自主ルール等を順守しつつ「省資源・省エネルギー」「排水・廃棄物削減、リサイクル」等を推進していきます。

太陽油脂は、この環境方針の全従業員への周知徹底を行い、全員参加による環境、社会との調和を目指した企業活動を推し進めていきます。

改訂日　2013 年　7 月　1 日
太陽油脂株式会社
代表取締役社長
網干 雄三郎

環境管理実施体制

- 代表者（社長）
- 環境管理責任者
- 各部門（部署）長
- 本社・工場 環境活動推進委員
- 本社・工場　各部門（部署）環境活動担当者 社員及び常駐する協力会社社員を含む従業者

EA-21事務局

④ 環境目標

2013年度の実績を踏まえ、2014年4月に見直した環境目標及び中期環境目標は以下の通りです。（尚、2014年度～ 2016年度の二酸化炭素排出係数（東電）は0.525（kg -CO2/kwh）を使用）

（年度:4月～ 3月 以下同じ）

製品生産量当たり	基準年度実績 2013 年度	基準年度比 2014 年度目標	基準年度比 2015 年度目標	基準年度比 2016 年度目標
二酸化炭素排出量 （kg-CO2/t）	252.24	98.75%	98.25%	97.75%
廃棄物排出量 （t/t）	0.0630	99.52%	99.03%	98.53%
食品廃棄物の発生抑制 （t/t）	0.0233	98.56%	98.04%	97.49%
食品リサイクル リサイクル率（%）	98.36%	98.00%	98.00%	98.00%
排水量 （m3/t）	4.01	99.51%	99.01%	98.51%
化学物質使用量 （kg/t）	0.0553	100.00%	100.00%	100.00%
グリーン購入 （作業着、事務用品、文具の グリーン購入実施率）	48.50%	55.00%	60.00%	65.00%
環境配慮設計 （家庭品事業）	41 品 / 年	40 品 / 年	40 品 / 年	40 品 / 年
地域とのコミュニケーション （石鹸学習会など）	106 回 / 年	102 回 / 年	104 回 / 年	106 回 / 年

⑤ 環境活動計画

主な取り組み内容

活動項目		取り組み内容
二酸化炭素排出量削減	電力使用量	① 事務所用蛍光灯並び野外灯の更新時に省エネタイプの照明器具採用。 LED照明及び省エネタイプ蛍光灯を積極的に導入 ② 昼休み消灯 ③ 空調温度管理及び更新時トップランナー機種選定（エネカット設置） 夏（6月～ 9月） 27 ～ 28度設定 冬（12月～ 3月） 20 ～ 22度設定 ④ パソコン・テレビ待機電力削減 ⑤ 太陽光発電（パネル40/kwh）電力の工場内使用
	化石燃料使用量	① 出張時の公共交通機関の積極利用 ② アイドリングストップの励行 ③ 急発進、急加速をしないエコドライブの徹底 ④ 高効率ボイラーの効率的な運転（並列運転）
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量	① 縮小コピー、②両面コピー ③ FAXのメール化、④マイタオルの使用 （職場場所限定）で紙使用量削減 ⑤ 一般廃棄物は単純焼却から再利用へ分別徹底する。
	産業廃棄物排出量	① 白土添加量削減と廃白土油脂分削減で廃白土削減。 ② 不適合品の削減で廃油・脂肪酸量排出削減
食品廃棄物発生抑制	食品廃棄物 発生原単位削減	① 効率的な製品製造（収率UPなど） ② 賞味期限切れ製品の削減（ムダのない生産計画）
	食品リサイクル率	① 再資源化率を監視し、資源化率98%以上継続維持する。
排水量削減	総排水量削減	① 節水コマの使用 ② 水道栓の交換（ワンタッチ式） ③ 冷却水の有効利用（再利用） ④ ムダのない洗浄方法の検討実施
化学物質使用量削減	化学物質使用量削減	① 使用量の適正管理による現状使用原単位の維持
グリーン購入	グリーン購入推進	① 職服、事務用品、文具のグリーン購入推進（グリーン購入実施率UP）
環境配慮設計	環境配慮設計	家庭品事業 ① 化学物質を使用せず石鹸をベースにした商品開発
地域とのコミュニケーション	地域とのコミュニケーション	① 工場見学会、手作り石けん教室、環境講演会を開催する ② 地域清掃活動の継続実施（本社工場～入江橋周辺） ③ お肌しあわせシリーズのドネーション・キャンペーン継続実施による 東日本大震災被災地区の子供たちへの支援 ④ 工場緑地化の推進

⑥ 環境目標の実績

製品生産量当たり	基準年度実績 2013 年度	基準年度比 2014 年度目標	基準年度比 2014 年度実績	基準年度比 2015 年度目標	基準年度比 2016 年度目標	評価
二酸化炭素排出量 （kg-CO2/t）	252.24	98.75%	95.88%	98.25%	97.75%	○
廃棄物排出量 （t/t）	0.0630	99.52%	97.95%	99.03%	98.53%	○
食品廃棄物の発生抑制 （t/t）	0.0233	98.56%	91.70%	98.04%	97.49%	○
食品リサイクル リサイクル率（%）	98.36%	98.00%	98.42%	98.00%	98.00%	○
排水量 （m3/t）	4.01	99.51%	96.71%	99.01%	98.51%	○
化学物質使用量 （kg/t）	0.0553	100.00%	96.86%	100.00%	100.00%	○
グリーン購入 （作業着、事務用品、文具の グリーン購入実施率）	48.50%	55.00%	42.79%	60.00%	65.00%	×
環境配慮設計 （家庭品事業）	41 品 / 年	40 品 / 年	43 品 / 年	40 品 / 年	40 品 / 年	○
地域とのコミュニケーション （石鹸学習会など）	106 回 / 年	102 回 / 年	104 回 / 年	104 回 / 年	106 回 / 年	○

1）環境負荷の実績

			基準年実績 2013 年度	実績 2014 年度	実績 2015 年度	実績 2016 年度	基準年度比（%）
二酸化炭素 排出量	電気使用量： 排出係数 0.525 （kg-CO2/kWh）	原単位 （kg-CO2/t）	75.81	74.33	-	-	98.05%
	化石燃料使用 二酸化炭素 排出量	原単位 （kg-CO2/t）	176.43	167.51	-	-	94.94%
	合計	原単位 （kg-CO2/t）	252.24	241.84	-	-	95.88%
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	原単位 （t/t）	0.0015	0.0016	-	-	106.67%
	産業廃棄物排出量	原単位 （t/t）	0.0615	0.0601	-	-	97.72%
	合計	原単位 （t/t）	0.0630	0.0617	-	-	97.95%
食品廃棄物	発生量	t	1,433.6	1,346.5	-	-	93.92%
	発生抑制量	t	140.25	274.14	-	-	195.47%
	再生利用量	t	917.16	833.63	-	-	90.89%
	熱回収量	t	516.41	512.83	-	-	99.31%
	減量量	t	0	0	-	-	0
	再生利用等 以外の量	t	0	0	0	0	0
	廃棄物としての 処分量	t	0	0	0	0	0
再生利用等の 実施率	食品リサイクル率	（%）	98.36%	98.42%	-	-	100.06%
排水量	排水量	原単位 （m3/t）	4.01	3.88	-	-	96.71%
化学物質使用量	化学物質使用量	原単位 （kg/t）	0.0553	0.0536	-	-	96.86%

⑦ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1）主要な取り組み内容と結果（2014年度）

活動項目		取り組み内容	取り組み結果
二酸化炭素排出量削減	電力使用量	① 事務所用蛍光灯並び野外灯の更新時に 省エネタイプの照明器具採用。 ・LED照明及び省エネタイプ蛍光灯を積極的に導入 ② 昼休み消灯 ③ 空調温度管理及び更新時トップランナー機種選定 （エネカット設置） 夏（6月～9月） 27 ～ 28度設定 冬（12月～3月） 20 ～ 22度設定 ④ パソコン・テレビ待機電力削減 ⑤ 工場屋上の太陽光発電利用	① Hf32w…18 ヶ所交換 LED…101 ヶ所交換 ② 各部署で実施 ③ 温度設定各部署で実施 ④ 各部署で実施 ⑤ 工場内照明などに使用
	化石燃料使用量	① 出張時の公共交通機関の積極利用 ② アイドリングストップの励行 ③ 急発進、急加速をしないエコドライブの徹底 （商用車はハイブリット化済み） ④ 高効率のボイラー設備並列運転	① 該当部署（営業部など）で実施 ② 商用車及び入構車輌で実施 ③ 商用車で実施（エコドライブ教育の実施） ⑤ ムダの少ない効率的なボイラー設備の 運転実施
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量	① 縮小コピー ② 両面コピー ② FAXのメール化 ④ マイタオルの使用（職場場所限定）で紙使用量削減 ⑤ 一般廃棄物は単純焼却から再利用へ分別徹底する。	①・② 各部署で実施 ③ 業務部で実施 ④ 可能な部署で実施 ⑤ 市の指導に基づき各部署分別徹底
	産業廃棄物排出量	① 白土添加量削減と廃白土油脂分削減で廃白土削減。 ② 不適合品の削減で廃油・脂肪酸量排出削減	① 廃白土削減目標に向け活動 （残油分削減に注力し活動中） ② MFCAツールを導入し不適合削減 活動実施
食品廃棄物発生抑制	食品廃棄物 発生原単位削減	① 効率的な製品製造（収率UPなど） ② 賞味期限切れ製品の削減（ムダのない生産計画）	①② 2014年度の発生原単位実績: 0.0214t/t（基準年比:91.70%）
	食品リサイクル率	① 再資源化率を監視し、資源化率98%以上 継続維持する。	① 2014年度の資源化率:98.42%
排水量削減	総排水量削減	① 節水コマの使用 ② 水道栓の交換（ワンタッチ式） ③ 冷却水の有効利用（再利用） ④ ムダのない洗浄方法の検討実施	① 各部署にて実施 ② 各部署にて実施 ③ 冷却水の再利用実施 ④ 各部署にて実施
化学物質使用量削減	化学物質使用量削減	① 適正使用による現状使用原単位の維持	① 使用量削減実績 基準年度比 ： 96.86%
グリーン購入	グリーン購入推進	① グリーン購入を推進する。 （対象:職服、文具、事務用品）	職服、文具、事務用品のグリーン購入 グリーン購入実施率 ・・・42.79%
環境配慮設計	環境配慮設計	家庭品事業 ① 化学物質を使用せず石鹸をベースにした商品開発	家庭品事業 ① 43品種を商品開発
地域とのコミュニケーション	地域との コミュニケーション	① 工場見学会、手作り石けん教室、環境講演会を 開催する ② 地域清掃活動の継続実施（本社工場～入江橋周辺） ③お肌しあわせシリーズのドネーション・キャンペーン 継続実施による東日本大震災被災地区の子供たちへの 支援 ④ 工場緑地化の推進	① 年間 104回実施 ② 本社工場周辺の清掃活動実施（毎週実施） ③ お肌しあわせシリーズによる ドネーション・キャンペーン （東日本大震災被災地への支援）実施 ④ ボイラー棟跡地及び事務所棟屋上の 緑地化を実施

2）主要な取り組みの評価

エコアクション21環境活動も導入後7年が経過し、全社活動として定着してきていると感じます。2014年度は新たに策定した中計計画の環境目標を達成すべく全部門（全社員）が活動に取り組みました。①二酸化炭素排出量原単位削減の取組みは基準年度より4.22%改善し目標を達成しました。②廃棄物排出量原単位削減の取組みは基準年度より2.05%改善し目標を達成、食品廃棄物排出量原単位も基準年度より8.3%改善となり目標を達成しました。③食品リサイクル率維持の目標や化学物質使用量原単位削減、環境配慮製品開発の目標、地域とのコミュニケーションなどの目標も達成しました。また地域貢献活動として工場周辺の清掃活動やドネーション・キャンペーンによる東日本大震災被災地の子供たちへの支援も実施いたしました。しかしながら、職服、文具、事務用品を対象としたグリーン購入実施率の目標は基準年度を下まわり目標未達成となってしまいました。経費削減活動も全社で行っており、厳しい所ではありますが次年度以降少しずつでも実施率を上げていける様に取り組んで行きたいと思います。

3）次年度の取組内容（2015年度）

活動項目		取り組み内容
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	①事務所用蛍光灯並び野外灯の更新時に省エネタイプの照明器具採用。 ・LED 照明を積極的に導入 ② 昼休み消灯 / パソコン・テレビ待機電力削減 ③ 6 月～ 9 月　クールビズの実施 ④ 空調温度管理及び更新時トップランナー機種選定 (エネカット設置) 夏（6 月～ 9 月）27 ～ 28 度設定　冬（12 月～ 3 月）20 ～ 22 度設定 ④ 製造設備の適正設定による無駄の無い製造の実施 （冷凍設備の適正使用など、不適合品や工程事故発生抑制など無駄の無い製造）
	化石燃料使用量削減	① 出張時の公共交通機関の積極利用 ② 生産量に合わせた効率の良い積載 ③ 生産量にあわせた効率の良いボイラー運転 ④ コージェネ設備導入（2015 年度下期稼動計画）
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量削減	① 縮小コピー ② 両面コピー ③ FAX のメール化 ④ マイタオルの使用（職場場所限定）で紙使用量削減 ⑤ 一般廃棄物は単純焼却から再利用へ分別徹底する。
	産業廃棄物排出量削減	① 白土添加量削減と廃白土油脂分削減で廃白土削減。 ② 不適合品の削減で廃油・脂肪酸量排出削減
総排水量削減	水・工水使用量削減 排水量削減	① 節水コマの使用 ② 水道栓の交換（ワンタッチ式） ③ 冷却水及び洗浄水適正使用による水使用量の削減
化学物質使用量削減	化学物質使用量削減	① 適正使用による現状使用原単位の維持
食品廃棄物発生抑制	食品廃棄物発生原単位削減	① 効率的な製品製造（収率 UP など） ② 賞味期限切れ製品の削減（ムダのない生産計画） ③ 不適合品や工程事故の発生抑制（ムダの無い製造）
	食品リサイクル率	① 再資源化率を監視し、資源化率 98% 以上継続維持する。
グリーン購入	グリーン購入の推進	① グリーン購入実施率を UP させる。（対象：職服、文具、事務用品）
環境配慮設計	環境配慮設計	家庭品事業 ① 化学物質を使用せず石鹸をベースにした商品開発 ② RSPO 油使用製品を製造販売する。
地域とのコミュニケーション	地域とのコミュニケーション	工場見学会、 ① 手作り石けん教室、環境講演会を開催する ② 地域清掃活動の継続実施（本社工場～入江橋周辺） ③ お肌しあわせシリーズのドネーション・キャンペーン継続実施による 東日本大震災被災地区の子供たちへの支援。

⑧ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1）適用法令等の順守状況の確認及び評価の結果

適用法令等	対象施設	遵守状況の確認及び評価の結果
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	全社	「公害防止統括者（同代理者）選任・解任届出書」、「大気関係公害防止管理者（同代理者）選任・解任届出書」、「水質関係公害防止管理者（同代理者）選任・解任届出書」 ・・・問題なし
大気汚染防止法	ボイラ、ガスタービン、悪臭	「ばい煙発生施設（使用、変更）届出書」排煙（Nox の許容限度）の規制基準
横浜市生活環境の保全等に関する条例（横浜市環境保全協定含む）		「指定事業所設置許可申請書」、「指定事業所に係る変更許可申請書」年２回 Nox 測定、定期報告 異常時の処置と対策・・・問題なし
水質汚濁防止法	排水処理設備	「特定施設設置（使用、変更）届出書」、「特定施設使用等開始報告書」排水規制基準、水質測定、定期報告・・・問題なし
横浜市生活環境の保全等に関する条例（横浜市環境保全協定含む）		公共用水域に排出される排水の規制基準 異常時の処置と対応・・・問題なし
騒音規制法	圧縮機	基準遵守、工業専用地域の為対象外・・・問題なし
振動規制法		基準遵守、工業専用地域の為対象外・・・問題なし
工場立地法	生産施設、緑地	生産施設、緑地の確保・・・問題なし
消防法	屋内貯蔵所	「危険物貯蔵所設置許可申請書」「指定可燃物貯蔵・取扱開始届出書」
	指定可燃物（タンク）	年２回の消防用設備定期点検。
	少量危険物（薬品庫）	「少量危険物貯蔵開始届出書」指定数量内の貯蔵、施設の点検、防災訓練強化 ・・・問題なし
浄化槽法	浄化槽	「浄化槽設置計画書」年１回の定期検査、年２回の清掃
横浜市福祉のまちづくり条例	建物、トイレ、スロープ等	「整備基準適合証」・・・問題なし
横浜市駐車場条例	構内駐車場	「附置義務駐車施設（設置、変更）届出書」
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）	化学物質	「第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書」　・・・問題なし
PCB 廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	コンデンサー	「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管及び処分状況等届出書（保管事業者用）」 密閉（sus 製）容器に保管、年１回報告・・・問題なし
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物置き場	「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」マニフェスト管理 「産業廃棄物処理計画」廃棄物置き場での掲示済み
横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例（規則）	全社	「産業廃棄物排出状況報告書」・・・問題なし
高圧ガス保安法	冷凍設備	特定施設届出済み、規制基準値内、危害予防規定提出済み。 危害予防規定届出済み、冷凍保安責任者を選任届出済み・・・問題なし
省エネ法（エネルギーの使用の合理化に関する法律）	全社	CO2 換算で温室効果ガス排出算出 排出量の定期報告（省エネ法定期報告で代用）・・・問題なし
温対法（地球温暖化対策の推進に関する法律）	全社	「エネルギー管理統括者 / エネルギー管理企画推進者選任届出書」、「エネルギー管理者選任届出書」 「定期報告書」、「中長期計画書」（1％以上 / 年平均のエネルギー消費原単位低減努力） ・・・問題なし
容器包装リサイクル法	工場	再商品化義務、再商品化委託料金の算出、識別表示 「再商品化委託契約申込書」（（財）日本容器包装リサイクル協会）・・・問題なし
食品リサイクル法	工場、倉庫	食品廃棄物の再生利用、削減計画、報告・・・問題なし
労働安全衛生法	全社、分析部署	健康診断（特殊検診含む）、有機溶剤中毒予防規則の遵守・・・問題なし

2）違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局より違反の指摘及び訴訟は過去、3年間ありませんでした。

⑨ 代表者による全体評価と見直しの結果

2014年度のEA21環境活動は新たに策定した中期計画を達成すべく全従業員が活動に取り組んだ結果、年度環境目標を大幅に上回る成果を多くの項目で達成する事が出来たと思っています。しかしながらグリーン購入実施率の目標は経費削減活動の背景もあり未達成となってしまった。グリーン購入実施率UPの目標達成に向け施策（アイデア）を総務、事務局を中心に検討して貰いたい。

今後の取組については以下のことに配慮する事。

①コピー用紙の削減目標は使用回数でなく、購入量の削減を目標とする事。
（使用回数では、紙使用を削減する為の両面コピーや縮小コピーなどの取り組み成果が判りにくい）

②2015年度導入を計画しているコージェネ設備の二酸化炭素排出量の計算方法についてEA21地域事務局に問合せ今年度以降の環境活動目標に反映する事。

⑩ 環境活動報告（2014年度）

◎環境配慮設計商品の開発発売

最近の環境変化に伴い、日常使用している洗浄剤や化粧品で、地球環境を汚さず肌に優しい商品へのニーズが高くなっています。

太陽油脂家庭品開発部では、環境にやさしい石けん製品を毎年開発しております。昨年、厳選した食品由来原料を使用し、オーガニックだけではなく使用感にもこだわりを持ったスキンケアシリーズ『素肌レシピ』を発売し、本年度はこのシリーズの新アイテムとして、ミルククレンジング『ミルキーメイクオフ』、ブライトニング美容液『ホワイスチャーエッセンス』のアイテムを発売しました。また、『ホワイスチャーエッセンス』では、フランスのオーガニック認証『ECOCERT』を取得しました。

その他の新アイテムとしましては、赤ちゃんの衣類用洗濯石けん『パックスベビー洗濯せっけん』、サンリオとコラボレーションした『ナチュロンクリームソープLA、P』を発売しました。

本年度に開発した商品は、全て下記の『環境配慮設計の基準』を満たし、『エコサート認証』を製造工場と一部製品で更新して取得を続けております。

環境配慮設計の基準

❶ PRTR指定物質、医薬部外品の表示指定成分の有害性の指摘のある合成化学物質は使用せず、石けんなどの生分解性良い原料を使用する。
❷ 商品は常圧以下で約100℃以下の温度で製造する。
❸ 段ボールなどリサイクルできる素材を採用し、廃棄時に有害物質を排出するプラスチック素材は使用しない。
❹ 詰替可能なものは「詰替用商品」を積極的に作る。

環境配慮商品
2014年度新製品

● 素肌レシピシリーズ

ミルククレンジング

素肌レシピ　ミルキーメイクオフ

ブライトニング美容液

素肌レシピ　ホワイスチャーエッセンス

● パックスベビーシリーズ新製品

パックスベビー洗濯せっけん

● クリームソープシリーズ新製品

パックスナチュロン
クリームソープLA、P

◎地域への貢献

太陽油脂は会社創立（1947年）当時より、「パックス」シリーズとして粉石けんや台所石けん、石けんハミガキなどをお届けしてきました。
そして近年、「パックスナチュロン」、「パックスオリー」、「パックスベビー」、「お肌しあわせ」シリーズの石けんシャンプーなどの液体石けん類、クリーム類も製造販売してまいりました。
この間、消費者や生協などの団体に、石けんについてより詳しく知っていただきたいため、石けんの使い方・環境に対する良さについて講習会などを通して広くお伝えしてまいりました。
また、昨年度よりホームページ上で毎月2回一般の方の参加の募集も開始し、より多くの方に石けんの良さについて知っていただけるような取組みを開始しました。
2014年度は、地域住民・学校・環境団体・NPO団体・生協等を対象に石けん講座、手づくり石けん教室、工場見学会を合計104回実施しました。また、NPO法人や学校などへ協賛品として石けん製品を34回送りました。

石けん講座、工場見学会

〈 内容 〉

①植物油（オリーブ油、パーム油など）を使用し、香りや色を付ける5分でできるペットボトル石けん作り（小さい子供向けには石けんチップを使った、手ごねの石けん作りを体験）
②合成界面活性剤などの合成化学物質、PRTR法での第1種指定化学物質を使わないシンプルライフ、石けん生活の提案
③実験による石けんの性質の確認（汚れ落ち、環境への影響、使用のコツ）
④製品を身近に感じることができる石けん工場の見学

〈 対象（参加団体）〉

・生協（パルシステム生活協同組合連合会、よつば生協、ナチュラルコープヨコハマ、なのはな生協、グリーンコープ連合など）
・行政・学校（子安小学校、神奈川小学校、横浜緑園総合高校など）
・共同購入・店舗（太陽サービス、大地を守る会など）
・環境団体（協同組合石けん連絡会、リサイクルデザインフォーラムなど）

参加人数
合計3,558人
（平均34.2人 / 回）

〈 石けん教室の様子〉

地域の小学校の総合学習の一環として、昨年に引き続き「石けん教室」を開催しました。身近にある石けんを自分たちの手で実際に作ることにより、愉しみながら環境についての学習が出来たと思います。
これらの取り組み内容については、「泡エコ通信(ナチュロン通信)」にして希望者に年3回、3万部配布しています。

◎泡の数だけ笑顔が増える! お肌しあわせキャンペーン

昨年に引き続き、太陽油脂製品「パックスお肌しあわせ」シリーズの商品売上の一部を、東日本大震災被災者の学校が希望される品物に買えお送りするというキャンペーンを毎年半期ごとに、「こどもとあゆむネットワーク」を通じて実施しています。

2013年下半期（2013年10月～2014年3月）
〈支援先・支援物〉 ●女川子育て支援センター・バルコニー床工事費

2014年度も引続きキャンペーンを実施しており、2015年度も引続き実施を予定しています。
詳細は、太陽油脂ホームページよりご覧下さい。
〈太陽油脂ホームページ〉http://www.taiyo-yushi.co.jp
〈 キャンペーンページ 〉http://www.taiyo-yushi.co.jp/soap/products/other/ohada_camp.html
（2013年度以降の内容については、後日更新予定となります。）

◎地域貢献活動

●地域清掃

地域貢献活動として、太陽油脂から国道までの道に掛けて毎週清掃活動を実施しております。
2014年度には51回の清掃を実施しました。

●町内会への協力

8月に町内会へイベントの協賛品として石けんを3ケース寄付しました。
町内会イベント（主にお祭りの準備・運営・後片付け）に参加し、地域への協力を行ないました。

太陽油脂株式会社